

2021年11月24日
公益財団法人イオン環境財団

11月27日(土)第3回「千葉県九十九里浜植樹」を実施 地域の皆さまに育てて頂いた苗木も植樹

公益財団法人イオン環境財団(理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役)は、11月27日(土)に第3回「千葉県九十九里浜植樹」を実施します。

九十九里海岸は、海岸県有保安林として造成されてきましたが、近年、松くい虫被害や湿地化による疎林化が進行しています。また東日本大震災では津波被害を受けていることで、当財団は、病虫害と台風や津波などの災害に強い海岸防災林の再生を目指すため、2019年に千葉県と「法人の森事業協定」を締結しました。

植樹地である山武市は、2019年の台風15号により甚大な被害を受け、被災地域の復興が急がれる中、同年11月に第1回の植樹を実施しました。地域の皆さまをはじめ、県内外のボランティア1,000名の皆さまとともに、抵抗性クロマツ、トベラ等の6種類の苗木、合計10,000本を植樹しました。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大のため、参加人数を制限し、2,000本の植樹を行いました。

今回は、「苗木の里親プロジェクト」(*)の取組として、1年間育てて頂いた苗木を含め、3,000本を150名のボランティアの皆さまとともに植樹予定であり、これまでの植樹累計本数は15,000本となります。

当財団は、今後もいのちあふれる美しい地球を次代に引き継ぐため、植樹活動をはじめとする環境活動に積極的に取り組んでまいります。

記

<植樹概要>

日 時:	2021年11月27日(土)10:00~12:00	
	10:00~10:15 開会式	
	10:20~12:00 植樹	
場 所:	山武市蓮沼ホ字矢指27-7外地先	
植樹本数:	3,000本(苗木の里親プロジェクトの1,400本を含む)	
樹 種:	6種(抵抗性クロマツ、マサキ、トベラ、アキグミ、ウバメガシ、コナラ)	
ボランティア:	150名	
主 催:	公益財団法人イオン環境財団	
後 援:	千葉県・山武市	
協 力:	イオンリテール株式会社	
主な出席者:	山武市 市長	松下 浩明 様
	山武市議会 議長	能勢 秋吉 様
	千葉県北部林業事務所 所長	高浦 祐之 様
	イオン環境財団 理事長	岡田 卓也
	イオン(株) 顧問	横尾 博
	イオン(株) 責任者 環境・社会貢献担当	三宅 香
	イオンリテール(株) 社長	井出 武美
	イオンリテール(株) 常務執行役員 南関東カンパニー支社長	浜口 好博

以上

(※)「苗木の里親プロジェクト」は、コロナ禍での森づくりとして2020年10月に開始した活動です。地域ボランティアの皆さまに苗木をお預けし、自宅や学校等で約1年間育て頂き、その苗木をイオンの森に植樹するという新たな環境活動です。

ご参考

■公益財団法人イオン環境財団について

1990年「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと設立されました。時代とともに変化する環境課題に応じた事業を継続実施しており、現在は「イオンの森づくり」「助成」「環境教育」「パートナーシップ」の4事業を中心にステークホルダーの皆さまとともに環境活動に取り組んでいます。

＜公益財団法人イオン環境財団ホームページ： <http://www.aeon.info/ef/> ＞

■イオンの森づくり

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。これまでの31年間、世界11カ国で植樹を行い、イオンの累計植樹本数は1,223万本を越えました(2021年2月末現在)。

＜千葉県における森づくり＞

2013年～2015年 浦安市植樹

東日本大震災時の液状化で噴出した土砂が深刻な社会課題となっていたことを受け、この土砂を盛土として活用する植樹活動を実施しました。

2013年から2015年の3年間の活動を通じ2,100名のボランティアの皆さまと合計18,000本を植えました。



2016年～2018年 千葉市植樹

2016年に、千葉市富田都市農業交流センターで、第1回「千葉市植樹」を実施しました。地域ボランティアの皆さまやイオンチアーズクラブの子どもたちを含め、1,200名のボランティアの皆さまとクヌギ、コナラ、ヤマザクラなどの広葉樹8,000本を植えました。第2回は2017年に第3回は2018年に泉自然公園(千葉市若葉区)で、野鳥の森の再生を目指し、植樹を実施しました。2年間で1,600名のボランティアの皆さまと合計17,000本を植えました。



2020年～ 君津市植樹

森林の再生を目指し、2020年に林野庁「モデルプロジェクトの森」における森林づくり活動について、林野庁関東森林管理局と協定、君津市と覚書を締結し、植樹活動を開始しました。

第1回の植樹は、2021年4月に300名のボランティアの皆さまとともに千葉県に自生する17樹種1,800本の植樹を実施しました。第2回は、君津市「市制施行50周年」を記念し、本年10月君津市立北子安小学校の児童をはじめ、110名のボランティアの皆さまとともに、ヤマザクラや君津市の花であるミツバツツジなど、合計1,640本の苗木を植樹しました。今後は、君津市の子どもたちや地域ボランティアの皆さま、NPO・NGO、大学や研究機関等の多様なステークホルダーと連携し、環境教育をはじめ「イオンの森」の資源を活用した環境活動を実施予定です。

